

# 大阪・関西万博開催に向けた御意見

御所属 株式会社コルク 代表取締役社長

御名前 佐渡島 庸平 様

## 1. 2025年の大阪・関西万博に何を期待しますか。

(是非すべきこと、また、するべきではないこと、後世に残すべきもの等)

- 今回の大阪・関西万博ってどれだけ来た人が「エモ」になるかだと思う。「エモかったわー」「何回も泣かされちゃったな」のような状態。昔は、驚くとか「おお、すごいな」とかだったと思うが結局、今フェスなどに行ったりしても、驚かなくなっていて、フェスで見たものが、3カ月後には商品化してたり、6ヶ月後にはもうそれは古くなったりとかって感じで動いている。
  - 万博は最先端の技術を見せる場でもあると考えるが、技術は何年かに1回あるとかっていうので見せても、もはや驚かないのと、進化の過程を理解できていないと一般の人がこれが最先端だって見せられても「何が嬉しいんだっけ」と分からないぐらい細部に入っている。いろんなコンテンツが非常に個別化されているため結局は、「自分の過去の記憶とか思い出がぶり返してきて、それで心が揺さぶられた」とか、「何かこれをきっかけに何か覚悟が決まった」とか、見せ方などを工夫し、どれだけ来場者の心を揺さぶるかではないか。

## 2. 大阪・関西万博で見せるべきコンテンツは何でしょうか。

(例：最先端技術の実証、SDGs 達成への貢献、ライフサイエンス分野との連携等)

- 例えば今回の大阪・関西万博とかに行くと、日本の様々な一流の人の目とか経験がインストールされる。それで、さらにそれぞれの国の人が日本に来た場合——例えば、アフリカの人が日本に来た場合ここで驚く、ヨーロッパの人が日本に来た場合ここに驚く——驚く場所が全部違う。それを各パビリオンで分かるようになって、そういうふうな形で体験がインストールされたりとかして、それぞれの個別の人によってそれぞれ観るショーが全部違ったりとかっていうふうなものまで設計できると良いのではないか。

## 3. 会場計画及びインフラ整備について、新たなアイデアや御意見をお願いします。

(例：会場のデザイン、水面や緑地の利活用、待ち時間のない万博とするための手法、災害対策、暑さ対策等)

- 5年後には技術どうなっているか分からない可能性ある。だから3～4年後ぐらいのところまでわかってる本当に若いプロデューサーとかを捕まえてこないといい感じにならないだろうなっていう気がする。

#### 4. そのほか、御自由に御意見を申し上げます。

- 待ち時間のない万博ってということ自体は、あんまり意味がないと思ってて、待つもの祭りだと思ふ。待っている間も、全部楽しい万博である。だからパビリオンの外とか期待している時間とかも全部設計されていると良いと考える。結局空いてて、賑わってなかったりとかスムーズすぎたりすると、有難味がない。待ち時間のない万博とかっていうのって、一見机上だと気持ちよさそうに映るが、実際体感すると気持ちよくないのではなか。

以上